

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名	参議院議員通常選挙				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	選挙管理委員会	課長名	財津公正
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	選挙管理委員会事務局	担当者名	右田裕治、歌野雅文
	施策の柱	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	選挙管理委員会事務局	(内線)	1 2 2 3
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	公職選挙法		
		2	4	9	10346			成果優先度評価結果	: ⑫
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	参議院議員通常選挙の管理執行を行う。参議院議員の任期は6年で、3年ごとに定数の半数121人を改選する(日本国憲法第46条)。定数は24人で、うち96人が比例代表選出議員、146人が選挙区選出議員である。今回は、平成28年7月25日で任期満了となる議員の選挙が執行される。投票日は、平成28年通常国会が会期150日間を延長しなければ、平成28年6月22日公示、7月10日投・開票となる見込み。参議院熊本県選出議員通常選挙では定数1名、参議院比例代表選出議員通常選挙では全国区で73の議員が選出される。当日投票に行けない選挙人のために、期日前投票所を17日間、合志庁舎、西合志庁舎の2箇所、午前8時30分から午後8時まで実施する。投票日の投票所は市内20箇所、投票時間は午前7時から午後7時まで(1時間繰上げ。第2投票区と第5投票区は2時間繰り上げて午後6時まで)行う。その他、滞在市町村での不在者投票、一定の障害を持つ人のための郵便等による不在者投票、指定施設による不在者投票、在外選挙人投票などを受付ける。 今回の参議院議員通常選挙は、公選法改正により、選挙権年齢が18歳に引き下げられて初めての選挙となる。開票は投票日の午後8時00分から合志市立合志中学校体育館で即日開票を行う。
【業務の流れ】	①選挙管理委員会の開催、②投票所、開票所の指定、③ポスター掲示場設置、④資材、消耗品等の準備、⑤選挙人名簿の調製、⑥投票入場券作成と発送、⑦投票管理者・同職務代理人・投票立会人の選任、⑧投票・開票事務従事者の選任、⑨期日前投票事務従事者説明会、⑩啓発活動、⑪選挙違反に対する注意・指導、⑫期日前投票所の設営、⑬不在者投票、郵便による不在者投票の受付開始、⑭選挙公報の配達、⑮当日投票事務、開票事務従事者説明会の開催、⑯投票所、開票所の設営、⑰交付機・計数機等の点検、⑱当日投票事務、⑲当日開票事務、⑳県選管へ結果報告、(21)選挙録・開票録の検収、(22)選挙委託費の実績報告・委託費の請求
【主な予算費目】	・報酬、職員手当等、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	期日前投票所を2箇所(合志庁舎・西合志庁舎)で実施しているが、泉ヶ丘支所で実施してほしいとの意見がある。参議院議員通常選挙の比例代表は全国区であるため、投票用紙の記載についてが、約200名の候補者あるいは10を超える政党のいずれの記載でも良く、選挙人からは制度がわかりづらいとの声がある。また、開票作業においても候補者数が多いため、仕分けや疑問票、按分票等の判定に時間がかかっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO) 今年度実績なし	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 選挙執行に向けた事務を行う。選挙管理委員会の開催、投票日等の啓発活動、ポスター掲示場の設営、選挙人名簿の調製、投票所入場券の作成、投票管理者・投票立会人・事務従事者の選任、事務用品の準備、選挙機材の点検、事務従事者説明会の実施、期日前・当日投票所の設営と執行、選挙公報の配付、開票の実施、選挙違反に対する注意・警告など
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) (単位)	予算の主な増減の理由
ア: 候補者数(熊本選挙区) 人	平成28年度に選挙執行が行われることによる増
イ: 候補者数(比例代表、政党及び個人) 人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 参議院議員通常選挙	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
	ア: 当日有権者数 人
	イ: 投票者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 選挙が適正に執行される。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
	ア: 選挙の管理執行において問題となった件数 件
	イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠法的に適正に処理し執行するため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 人		4	0	0	0	4	0	0	4	
	イ 人		162	0	0	0	170	0	0	170	
② 対象指標	ア 人		44,526	0	0	0	46,100	0	0	47,300	
	イ 人		23,757	0	0	0	27,660	0	0	28,380	
③ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
入費 量	事業費計	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	17,270			18,600			18,600	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円					2,904		1,000	
		一般財源	千円								
	(A)のうち指定経費	(A) 事業費計	千円	17,270	0	0	0	21,504	0	0	19,600
		(A)のうち指定経費	千円	10,130	0	0	0	0	0	0	12,099
		(A)のうち時間外、特勤	千円	8,603	0	0	0	0	0	0	10,503
		(B) 人件費計	千円	11,764	0	0	0	11,952	0	0	11,952
トータルコスト(A)+(B)	千円	29,034	0	0	0	33,456	0	0	31,552		

事務事業名	参議院議員通常選挙	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会事務局
-------	-----------	-----	---------	-----	------------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 平成27年度は実施なし。平成28年7月10日執行予定。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 選挙執行管理において問題が発生しなければ適性に執行できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 次の選挙に向け、投票準備、開票準備や開票作業において研究を重ね、効率的な事務の執行を目指し、開票時間の短縮、人件費の削減に取り組む。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似するものがない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務手順において研究を重ね、効率化を図ることにより、従事者の削減、開票時間の短縮が望める。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 臨時職員の一部採用を行うなど、人件費の削減に取り組む。また、投票受付のシステム化により、一部の投票所の事務従事者を減らす予定である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき、すべての有権者に対し執行する選挙であり、受益機会は適正で公平である。また、費用負担の考え方はなじまない。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき、市選挙管理委員会を実施する管理執行事務であるため、他に移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成27年度執行なし。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					